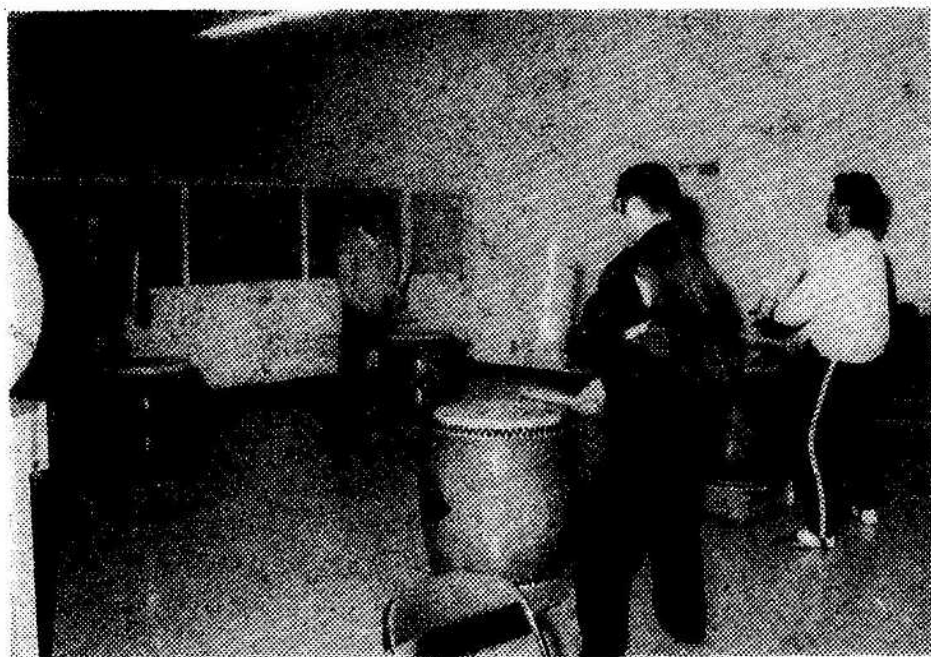


古墳  
太鼓

# 創作に若い情熱

## 江釣子村五条丸の青年

### 披露めざし猛げいこ



江釣子村五条丸地区で、創作芸能「古墳太鼓」の完成目指し、けいこが続けられている。「古墳の里を代表する芸能を」と、三十代の青年たちが中心となり、太鼓を鳴らし続けている。初披露は秋の「古墳まつり」を予定。地区民が夢とロマンをこめた「オラが芸能」がいよいよ誕生する。

江釣子村五条丸地区で、創作芸能「古墳太鼓」の完成目指し、けいこに励む江釣子村六区の青年たち

江釣子村五条丸地区で、創作芸能「古墳太鼓」の完成目指し、けいこが続けられている。「古墳の里を代表する芸能を」と、三十代の青年たちが中心となり、太鼓を鳴らし続けている。初披露は秋の「古墳まつり」を予定。地区民が夢とロマンをこめた「オラが芸能」がいよいよ誕生する。

このため「地域独自の芸能を」という声が高まり、昨年、六区公民館（高橋直一館長）……

江釣子村五条丸地区で、創作芸能「古墳太鼓」の完成目指し、けいこが続けられている。「古墳の里を代表する芸能を」と、三十代の青年たちが中心となり、太鼓を鳴らし続けている。初披露は秋の「古墳まつり」を予定。地区民が夢とロマンをこめた「オラが芸能」がいよいよ誕生する。

このため「地域独自の芸能を」という声が高まり、昨年、六区公民館（高橋直一館長）……

はドレミを覚えていた段階。基礎的なけいこだが、若者たちは熱心だし、体力もあるからどんどん上達している」と高橋館長は評価している。その通り、若手たちも「オラが芸能」づくりに懸命だ。

計画によると、ことし二月までにオリジナルの基調曲を完成させる。他の芸能を参考にするが、基調曲だけは、古墳をイメージした独自のものにした」というのが、地区民の願い。振り付けや、披露する際の衣装も、「ちろん、古墳、古代をイメージ化したものを」と考えている。

九月二十三日の「古墳まつり」の芸能発表会が、古墳太鼓のお披露目。けいこ日数はたっぷりあるものの、より完成度の高い芸能に仕上げため、けいこはこれから一段と厳しさを増す。

地区では「小・中学生など子供たちにも習得させよう」という話が進んでおり、古墳太鼓誕生に地区民の熱い視線が注がれている。